

# 技術・家庭

## 1 なぜ技術・家庭科を学習するのでしょうか

1995年（平成7年）に阪神淡路大震災が起こりました。震災後に、「学校で何を学んでおけばよかったか」というアンケートを実施したところ、1番が道徳、2番が技術・家庭科という結果が出たそうです。まさに、人間が生きていく上で大切なことは何か、人間らしく暮らしていく上で何が必要なのかを考えさせられます。

技術・家庭科は、生活に必要な基礎的な知識や技術を習得し、進んで生活を工夫し創造する能力、実践力を身につけることを目標としています。生きていく上で人間が不便な状況におかれても、よりよい生活を求めて、工夫して解決し、たくましく生きていくための力を身につける教科だといえます。

## 2 どんな家庭学習をすればいいのでしょうか

### ●まずは学んだことを家庭でやってみましょう

#### 技術分野での例

- ・授業で学んだ技術や知識を家庭で応用し、家族に役立つものを作ったり、花や野菜作りを家族と一緒に実践したりする。
- ・生活に必要な情報をコンピュータを活用して調べる。
- ・家庭のエネルギー消費を見直し、合理的な利用について相談する。



#### 家庭分野での例

- ・自分の成長を支えてくれる家族と積極的にかかわったり、幼児に関心をもったりしながら家庭の仕事の分担をする。
- ・栄養のバランスや好みを考えた家族の食事を準備する。
- ・衣類の洗濯や手入れをしたり、災害に備えた安全な住まい方を工夫したりする。
- ・ものを大切にし、環境のことを考えた生活をする。



☆技術・家庭科は学んだことがそのまま家庭で実践できます。

家族のため自分のためにやってみましょう。

### ●学んだことを生かして発展させてみましょう

学んだことをそのままやってみるだけでなく、少し違うことにチャレンジしたり、工夫を加えてみたりしてみましょう。やったことについて、家族や周りの人に感想を聞いて改善するのもいいでしょう。

☆人間の社会生活は、自分たちの持っている知識や技術を生かしてやってみること、更に工夫を加えてよりよいものを創造していくことによって、快適なものに変わってきたのです。

家庭の中で、自分にできることをまずはやってみる。そして、さらに工夫を加えてよりよいものになるようにチャレンジする。そんな気持ちを大切にして、技術・家庭の学習を進めてください。

